

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市踊場地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

担当している中田しらゆり地域は、古くから地域活動が活発な地域です。長後街道の沿線は平成 11 年の市営地下鉄開通と長後街道の拡張工事により都心への通勤圏となり、子育て世代など若い新住民が増加しています。それにあわせて子育て支援の需要が増加し、また新住民が町内会をはじめとした地域組織にいかにもスムーズに溶け込むことが出来るかが課題となっています。

一方で葛野地区周辺やしらゆり地区など幹線道路から遠い地域は、高齢化が進んでいます。特にしらゆり地域は団地を除いて泉区で一番高齢化が進んでおり、また坂が多く閉じこもりやすい地形ということもあり、介護予防や支援が必要な高齢者の早期発見が課題です。

本年度も、地域、行政、関係団体と協力して介護予防や生活支援体制整備の事業を進めました。これまで NPO 法人日本園芸療法研修会と開催していた「ベルガーデン水曜クラブ」が 10 月より介護予防・日常生活支援総合事業となりました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

中田しらゆり各支援チームに参加し、地域の情報を共有するとともに、5 職種が地域の様々な活動に足を運ぶことで生きた社会資源等の情報を把握しました。情報発信も行いました。

高齢者については包括が、子どもと障がいについては地域交流 CO が中心となって相談をうかがい、適切な機関に繋げました。担当者が不在の場合でも対応ができるように職員同士で連携をとりました。

子どもや障がい分野の事業はこれまで通り継続するとともに、「かがやき」や「すきっぷ」と連携しました。

(3) 各事業の連携

毎月 6 職種会議を開催し、地域情報の共有等を行いました。

地域の様々な活動に、包括スタッフと 2 名のコーディネーターが分担して参加しました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

包括支援センターの職員 1 名が欠員となりました。施設全体研修として、人権研修、災害時対応研修、ホスピタリティ研修を実施しました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

中田・しらゆり両地区の地域福祉保健計画に参加しました。
中田・しらゆり子育てネットワークの事務局として参加しました。
中田連合地区経営委員会中田かわら版部会に協力をしました。
中田地区の要援護者支援システム部会に委員として参加し、地域の見守りについて検討しました
泉区障がい児余暇活動支援事業「ジュニアフレンド」に参加しました。

(6) 区行政との協働

中田しらゆり各地域にはコーディネーターが支援チームに参加しました。
中田白百合子育てネットワークでは、外遊びの会に参加しました。
交通局、泉・戸塚の地域振興課と「おどりばねこまつり」に協力しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

前年度までの事業は継続しました。
歌の会「みんなで歌おう会」、小学生以上を対象とした「おどりば体験 kids'」は参加希望も多く順調に開催しています。
男性の閉じこもりや介護予防、地域の仲間づくりを進める「俺のそば打ち」、子育て世代向けの「姿勢測定会」を包括支援センター・生活支援事業と共催で開催しました。地下鉄・地域と協力し「おどりばねこまつり」を今年も開催しました。法人内職員の普及員により、普通救命講習会を開催しています。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

インターネットサイトに加え、受付にタッチパネル式のモニターを設置し、その場でも貸館利用状況や団体情報が確認できるようにしています。
1月に施設利用団体連絡会を開催し、各利用団体に施設をスムーズに活用していただけるように情報提供を行っています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティア希望者には、デイサービスだけではなく、寺子屋やはさみの会といった当プラザの自主事業や利用団体ほか地域のボランティア活動をご紹介します。
インターネットサイトやおどりば新聞でもボランティア募集を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

中田連合文化祭をはじめ、地域のイベントには積極的に参加しました。
インターネットサイト「中田白百合地域情報サイト」を利用しやすいように改良しました。
受付のタッチパネルでは、利用状況や利用団体情報を更に使いやすく確認できるように継続的に見直しました。
おどりば新聞、中田かわら版共に継続して毎月発行しています。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

『いつまでも安心して住み続けられる地域づくり』をテーマに菱沼先生の講演と多世代の地域の方と専門職で地域づくりのきっかけができました。

プラザ内では、6職種会議において地域状況の把握が出来、連携体制が進みました。

区内の6ケアプラザと区社協・区役所と地域デビューのに繋がる講座の開催が出来ました。

地域行事やサロンに伺い健康づくりや介護予防の推進に努めました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

6職種会議でニーズや資源を共有し、地域分析に努めました。

シニアクラブ活動を「中田しらゆり地域情報サイト」に出来る範囲で掲載しました。

住民アンケートに取り組みたい地域への情報提供はしましたが、個人情報の取り扱いについてまだハードルが高く取り組めていません。

(3) 連携・協議の場

子育て・高齢者・障がいをお持ちの方など地域に暮らす住民と担当エリアで仕事をしている方とイベントの開催ができました。

地区社協の定例会に参加することで地域の課題を知り研修会の企画に繋がり医師会との連携も進みました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

戸塚区の支え合いマップ研修会に参加させていただき汲沢地域でも取り組んでいることや、ケアマネジャーから買い物についての情報を得ることができました。

地域住民が支え合い活動の必要性を感じていることは把握していますが、中田地区をはじめ、導入方法を検討していく必要があると感じています。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・介護保険事業所、医療機関、薬局、障害施設、民生委員など必要に応じて連携、連絡を取り合う体制を作りました。
- ・利用者が住み慣れた地域で生活ができるよう見守りをしている民生委員とは、情報交換を密としました。
- ・地域で活動している各種団体と連絡をとりネットワークを築きました。

② 実態把握

- ・来館、訪問での初回面会で主訴を確認し、それまでの経過や生活状況、本人や家族の思いを確認し実態が正確に把握できるようにしました。
- ・関係機関と情報と共有するだけでなく、必要があれば同行訪問も行い地域住民の実態を把握しました。
- ・実態把握後は情報を分析し専門的支援が行えるようにしました。

③ 総合相談支援

- ・来館、訪問での初回面会で主訴を確認し、それまでの経過や生活状況、本人や家族の思いを確認し実態が正確に把握できるようにしました。
- ・関係機関と情報と共有するだけでなく、必要があれば同行訪問も行い地域住民の実態を把握しました。
- ・実態把握後は情報を分析し専門的支援が行えるようにしました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・地域住民の権利や人権を守るため関係する相談があった時は成年後見制度の案内をしました。
- ・地域サロンや食事会などで消費者被害の情報共有や注意喚起に努めました。
- ・様々な地域向けの講座の中で成年後見制度の必要性を伝えました。

② 高齢者虐待への対応

- ・高齢者虐待を疑われる報告があった場合、早急に訪問し現状の把握をしました。
- ・虐待を受けた人、虐待をした人、双方の話しを伺い解決にむけた支援を行いました。
- ・介護者懇談会を月に1回開催し、介護者負担の軽減をはかり虐待防止に努めました。

③ 認知症

- ・認知症の方が出来るだけ住み慣れた地域で生活できるよう、地域の受け入れ体制を整えました。
- ・講座などを通して地域住民の認知症の理解が深まるように働きかけをしました。
- ・認知症サポーター養成の依頼があった時は開催できるよう積極的に対応しました。
- ・キャラバンメイトの方々とも情報交換会を開催しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ ケアマネジャーと民生委員が連携して住民の支援が行えるよう、連絡会を行い情報の共有、今後の関係のありかたを検討しました。
- ・ 要支援者見守りシステム部会に参加し、地域での見守りネットワークに協力しました。
- ・ 地域サロン、民生委員の定例会、地域の会議などにできるだけ参加し連携を図るようにはしました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 必要時は泉区在宅医療相談室と連携を図りました。
- ・ 医療機関からの在宅への退院時は、スムーズに在宅生活に入れるよう事前調整を行いました。
- ・ 医療機関間からの問い合わせや相談があった場合、個人情報に注意したうえで対応しました。
- ・ 「医療機関・調剤薬局情報ガイド」を作成し、地域のケアマネジャーに配布し活用を促しました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ 月1回、ケアマネジャーの連絡会を開催（区内包括支援センター合同開催も含む）し、スキルアップや情報共有が図れるようにしました。
- ・ ケアプラン計画時にインフォーマルサービスも組み込めるようリストを活用してもらいました。
- ・ 必要な地域情報については生活支援コーディネーターとも連携し、ケアマネジャーに情報提供しました。
- ・ 支援困難者をケアマネジャーが一人で抱え込まないように、同行訪問をするなどします。区役所にも相談し多職種で支援できるようにしました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 個別ケース、包括レベルの地域ケア会議を開催しました。
- ・ 開催にあたっては関係機関だけではなく、民生委員・医療・地域住民・法律関係者など幅広い意見が出るよう参加者を考慮しました。
- ・ 参加者が互いにネットワークを広げ、地域で新しい枠組みができるように支援しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 適切にアセスメントを行ったうえで達成可能な目標を設定し、本人が意欲を持って目標に向かっていけるよう支援しました。
- ・ 定期的に達成状況を確認し、必要があれば目標の再設定を行いました。
- ・ 過度なサービス利用にならないようにしました。
- ・ 委託した利用に対しても同様であることから、担当ケアマネジャーと共同して自立支援に努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 介護予防イベントをチイキボランティア、企業、施設の協力を得て、開催しました。総合的な介護予防イベントを地域の皆様と一緒に行うことができました。
- ・ 他施設と連携し、介護予防講座（スクエアステップ、ロコモ予防、口腔ケア、栄養）を開催しました。スクエアステップは、新しい教室が立ち上がりました。
- ・ 体操連絡会、地域のサロン関係者、シニアクラブ、民生委員の方たちの活動支援として「サロンに活かせる運動」を目的とした研修会を開催しました。
- ・ 季節に合わせた遠足を行いました。
- ・ 地域サロンからの依頼には、三職種の特徴を生かした内容（介護保険制度、人生計画帳など）と介護予防運動を組み合わせ、地域の方の情報を提供しました。
- ・ 生活支援、地域交流コーディネーターと協働して開催した「そば講座」では、男性ボランティアの育成ができました。
- ・ ふまねっと運動は、参加者、サポーターが増え、継続的に行うことができました。茶話会を開催し、参加者たちの交流をはかりました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

地域の皆様が快適にケアプラザを利用していただくことを第一とし、施設・設備の管理・保守を行いました。具体的には定期清掃や施設の総合的な保守管理については指名競争落札をした業者に依頼し、安全面等で専門的な保守点検が必要な設備については設置メーカーに直接依頼しています。(エレベーター、空調設備、機械警備、自動ドア、など)

(2) 効率的な運営への取組について

ご利用者様の快適な利用を妨げない範囲での光熱水費の節減に努めました。業務委託に関しても建物設備の維持管理に関する業務委託は指名競争入札を実施し費用の効率を図っています。本年度は施設管理業者の入札を行っています。エレベーターや自動ドアなど安全に関わる部分は設置業者(メーカー)に直接管理を委託しています。

(3) 苦情受付体制について

苦情については、各事業の責任者が窓口となるとともに、法人の苦情窓口として第三者委員を設置しています。また、区役所やその他関連機関の相談窓口も掲示することで、お客様の声が届くように、またお客様が不利にならないように努めています。また、苦情の実績については運営協議会で報告し、地域の代表者からのご意見を頂き再発防止に努めています。

(4) 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

防犯の体制及び対応

警備会社と委託契約し、365日機械警備を行いました。毎日業務終了後に職員が施設の巡視点検を行い、不審な点が無いかチェックするとともに、施錠のし忘れや機械設備や照明の電源切り忘れを予防しました。

防火防災の体制及び対応

法人本部で専任の防災担当者を1名配置し、その指導のもと防災計画を勧めました。具体的には、特別避難所としての備蓄とは別枠で、緊急備蓄として食糧、飲料水を購入しました。また、消防訓練を2回実施し、その内1回は初めて地震による火災を想定した避難訓練を実施しました。

急病者への対応

施設内での急病者は通所介護、地域交流利用者に関わらず、施設内の看護師が対応し、救急隊に繋いでいます。

現在職員の救命講習参加を推進しており、本年度も普通救命講習もしくは上級救命講習に多数の職員が参加しました。

(5) 事故防止への取組について

事故のリスクが高い通所介護では、事故に至ってしまった事例以外にも事故に至らなかった事例（通称ヒヤリ・ハット）についても即日のミーティングで事故防止委員会を開催し、再発防止を現場で検討しています。この情報は、業務中いつでも閲覧が可能で、常に目を通すことで職員が最新の情報を持つように心がけています。また、月1回行われる、事故防止会議において通所介護スタッフ全員に事故及びヒヤリ・ハットを報告し再発防止の振り返りを行っています。特徴的なものについては更に施設職員全員に周知を図っています。

事業中に発生した事故については、すべて「緊急対応マニュアル」「運転マニュアル」にそって迅速な対応を行うとともに、事故発生後速やかに区に報告を行いました。

また、発生した事故に関しては、「事故分析シート」を用いて様々な視点から事故原因を分析し、職員間で共有することで再発防止に努めました。

年1回、全職員による施設設備危険箇所点検を実施し、危険箇所の対策を行っています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報には細心の注意を払い、以下の取り組みを実施しました

- ・新入職員の研修に個人情報の研修を組み入れ、横浜市長及び法人理事長あての誓約書を取ります。
- ・毎年横浜市作成の個人情報に関するチェックリストを職員全員が行い、意識の向上に努めます。
- ・郵送物やファックスは必ず複数でチェックを行い、誤送付・誤送信を防ぎます。更にファックスについては、内容の一部を意図的に消しこみ、個人の特定を図れないようにします。

(7) 情報公開への取組について

情報開示の申し出があった場合は、個人情報の保護に最大限配慮しつつも、積極的に開示に努めています。本年度は情報開示の申し出はありませんでした。

介護保険事業については、毎年実施される「介護サービス公表」の調査を行いました。また、福祉情報サイト「かながわ福祉情報コミュニティー」に最新情報を掲載しています。

WEB上では、法人情報は法人サイトで、プラザの情報は「中田白百合地域情報サイト」にて日々の事業内容や様子を掲載しています。

(8) 人権啓発への取組について

当法人の理念「あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として、文化的生活を営めるよう、その自立に向けた支援に努める」を念頭に常に人権意識を持ちながら業務を遂行しています。

年に一度、施設全職員を対象とした人権研修を実施しています。本年は、乳幼児の人権についての研修を実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ゴミルート回収に参加し、ゴミの分別と資源再利用に取り組みました。施設の内外に多数プランターを配置し、季節の草花を植えました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

三職種（常勤）	非常勤プランナー	合計（常勤換算）
5	2（1.2）	7（6.2）

非常勤介護予防プラン作成専任介護支援専門員2名体制で行いました。

《目標に対する成果等》

本人の意欲を転換させ、出来る事を伸ばしていくような目標思考の支援を行いました。プランの作成にあたっては、本人の力、取り巻く環境を勘案し、個別性のある対応をしました。また介護保険サービス以外にも、インフォーマルサービスも視野に入れて支援しました。

地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域支援コーディネーター、生活支援コーディネーターを加えた5職種で取り組んでいきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●ありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・職員間で利用者の状況の共有をはかり、迅速な対応に努めました。
- ・委託した利用者に関してはサービス担当者会議に参加することで、状況把握に努め、適切な支援に努めました。
- ・意欲を持ち続け、健康的に長く住み慣れた地域で生活ができるよう支援しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
直営119	直営118	直営117	直営117	直営116	直営119
委託166	委託173	委託166	委託174	委託175	委託177
合計285	合計291	合計283	合計291	合計291	合計296
10月	11月	12月	1月	2月	3月
直営116	直営110	直営111	直営112	直営110	直営110
委託183	委託184	委託187	委託184	委託191	委託193
合計299	合計294	合計298	合計296	合計301	合計303

●居宅介護支援事業

《職員体制》

主任介護支援専門員 1名
 介護支援専門員 3名（常勤専従）

《目標》

・特定事業所加算算定事業所として、法令を遵守し質の高いケアマネジメントの実践を行い事業運営いたしました

・要介護者ご本人が望む生活を、適切なアセスメントに基づき、専門的見地から分析し、公正中立な立場に立ち、ご本人およびその取り巻く環境に配慮し、寄り添いながらご本人の持つ力、ご家族の持つ力をしっかり見積もり、ご本人のできる力を最大限に活用し自立支援に資するケアプランを作成いたしました。

・介護支援専門員としての資質向上を目的に、各々が積極的に研修に参加し、自己研鑽を行い事業所内で情報を共有しながら、事例検討やスーパーヴィジョンを実施し資質向上を図りました。

・特定事業所として、3名の実務同行研修 研修生を受け入れました

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●交通費の実費負担の徴収はありませんでした

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所として質の高い支援を行うため、ケア会議にはスーパーヴィジョンを行い、利用者の支援に対して利用者の自立支援に取り組めるよう研鑽し、利用者に寄り添う支援をしております。

サービスの提案に関しては、ご本人の状態を専門的に分析し、ご本人に一番適切なサービスや事業所提案しております。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
150	154	149	149	150	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
151	146	143	144	138	141

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動・排泄の介助、見守り等）
- 健康状態の確認（バイタルチェック・服薬管理）
- 送迎及び送迎介助サービス
- 食事の提供及び食事介助サービス
- 日常動作訓練（レクリエーション）
- 通所介護サービス計画の作成
- 入浴介助・見守りサービス
- 口腔機能向上加算

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 利用者負担額（1割負担の場合）（1回につき）

サービス提供時間	10:10～15:30	9:25～16:30
	5時間 20分	7時間 05分
要介護① 入浴有	7 1 5 円	8 1 0 円
要介護② 入浴有	8 3 2 円	9 4 3 円
要介護③ 入浴有	9 4 8 円	1,0 8 0 円
要介護④ 入浴有	1,0 6 4 円	1,2 1 7 円
要介護⑤ 入浴有	1,1 8 0 円	1,3 5 4 円

※サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ及び 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）が含まれます。

- 食費負担 690円/食
- 口腔機能向上加算希望者は、（月2回限度）1回1割負担の場合171円
- 集団レクリエーション費用、紙オムツ代等は徴収していません。
- 機能訓練を目的とした外出の際の飲食費等は自費をいただいています。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:25～16:30 （うち短時間デイサービス 10:10～15:30）

《職員体制》（3月末現在）

	正職員	準職員	非常勤職員
生活相談員	3		
看護師・機能訓練指導員		2	3
歯科衛生士			1
介護員	3	4	14
管理栄養士			1
調理員			4
事務員	1		3
運転手			3

※地域密着型通所介護事業と一部兼務

《目標に対する取組状況》

- 歯科衛生士の定期的な活動により、口腔機能向上の算定が拡大。定着している。
- 理美容の提供（自費）は好評で、設定した曜日以外でもご利用者の希望に合わせ実施しております。
- 機能訓練として、地域で活動していらっしゃる講師の先生を定期的にお招きしての高齢者向け太極拳教室の実施しております。
- 女性の利用者様には、手先を使用する創作活動として、刺繍、貼り絵を提供しています。
- 作品はデイルーム内、ケアプラザ内に掲載しています。
- ジクソーパズルを多数用意し、楽しめる環境作りを行いました。
- 将棋、囲碁、麻雀が出来る環境作りを力を入れております。ボランティアさんの協力も得ながら、定着しつつあり男性利用者様の利用も増加傾向にあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 事前見学を実施しています。
- 季節ごとの行事食を年6回（松花堂弁当・クリスマスバイキング）、ご家族を交えての食事会を希望者に実施している。季節に合わせて鍋料理等お出ししています。
- 個別レクリエーションでは、（習字・唄・ゲーム・手芸等）好みの趣味活動を行っています。毎週木曜日には太極拳を行っています。地域の作品展に作品を展示、見学に出かけています。
- 各ご家庭の事情による臨時利用・振替利用をケアマネジャーの指示により受入れます。
- 利用者満足度調査を、年一回行い可能な要望に答えられるようにいたします。
- 希望者に理美容の提供（自費）を行なっています。
- 医療的ニーズの高い利用者の受入を行っています。

《利用者（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
856	849	836	857	867	842	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
887	819	764	734	744	837	9,892

● 第一号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動・排泄の介助、見守り等）
- 健康状態の確認（バイタルチェック）
- 送迎・送迎介助サービス
- 食事・食事介助サービス
- 入浴介助・見守りサービス
- 日常動作訓練（レクリエーション）
- 第一号通所サービス（横浜市通所介護相当サービス）計画の作成
- 口腔機能向上加算

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 利用者負担額（1割負担の場合）（1月につき）
 - （要支援1・週1回程度）1,951円
 - （要支援2・週1回程度）1,951円
 - （要支援2・週2回程度）3,998円
 ※サービス提供体制強化加算（I）イ及び介護職員処遇改善加算（I）が含まれます。
- 食費負担 690円/食
- 口腔機能向上加算希望者は、（1月につき）1割負担の場合171円
- 集団レクリエーション費用、紙オムツ代等は徴収していません。
- 機能訓練を目的とした外出の際の飲食費等は自費をいただいています。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:10～15:30

《職員体制》

通所介護事業と兼任のため通所介護事業を参照

《目標に対する取組状況》

内容としては、通所介護事業と同時に行っているため、同等の内容になるが、創作においては、具体案を要支援のご利用者様より提案いただき、作品作りにいかしている。より個別の対応が行えるために、個別の話し合いの充実を図っている。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 通所介護事業（介護給付）と同じ。
- 13:30～15:00において、利用者個々のニーズに応じた趣味の活動（手芸、唄、書道等を行います）。

《利用者（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
29	29	29	30	29	30
10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	30	30	29	26	27

● 地域密着型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動・排泄の介助、見守り等）
- 健康状態の確認（バイタルチェック）
- 送迎・送迎介助サービス
- 食事・食事介助サービス
- 入浴介助・見守りサービス
- 個別対応サービス・水分管理・スキンケア・個別運動等への取り組み
- 地域密着型通所介護サービス計画の作成及び支援詳細記録
- 口腔機能向上加算

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 利用者負担額（1割負担の場合）（1回につき）平成29年8月より

サービス提供時間	10:10~15:30	9:25~16:30
	5時間20分	7時間05分
要介護① 入浴有	924円	1,032円
要介護② 入浴有	1,056円	1,182円
要介護③ 入浴有	1,189円	1,339円
要介護④ 入浴有	1,321円	1,496円
要介護⑤ 入浴有	1,454円	1,651円

※サービス提供体制強化加算（I）イ及び介護職員処遇改善加算（I）、中重度者ケア体制加算、認知症加算（認知症加算非該当の場合は1割負担68円下がります）が含まれます。

- 食費負担 690円/食
- 口腔機能向上加算希望者は、（月2回限度）1回1割負担の場合171円
- 集団レクリエーション費用、紙オムツ代等は徴収していません。
- 機能訓練を目的とした外出の際の飲食費等は自費をいただいています。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:25~16:30（うち短時間利用 10:10~15:30）

《職員体制》（3月末現在）

	正職員	準職員	非常勤職員
生活相談員	3		
機能訓練指導員・看護師		2	3
歯科衛生士			1
介護員	3	1	10
管理栄養士			1
調理員			4
事務員	1		3
運転手			3

※通所介護事業・第一号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）と一部兼務

《目標に対する取組状況》

- 朝のちょこっとおやつを用意し利用者様の水分補給に積極的に取り組みました。
- 食事の形態の検討を行い、摂取量の確認、栄養状態を観察しています。
- レクリエーション等は、お一人、おひとりの状態に合わせ、個別の対応をおこなっており、季節感を体験できる取り組みも行いました。
- また、連絡帳には、細かくご様子の記載を行い、報告させて頂いています。
- 医療的ニーズの高い利用者様の受入について検討し、可能な限り要望に対応しました。
- 歯科衛生士の定期的な活動により、口腔機能向上の算定が拡大。定着している。
- 希望者に理美容の提供（自費）を行なっています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 朝のちょこっとおやつを用意し利用者様の水分補給に積極的に取り組みます。
- お一人、おひとりの排泄のリズムを見ながら介助を行います。
- お食事の内容、量などを確認し、栄養状態を観察しています。

- 月に一回の体重測定を行っています。
- 年に三回のお料理教室や、月に一回のアニマルセラピーを行います。
- タッチングケアを取り入れ、心の不安やストレスを軽減を試みています。
- 個別の支援計画を作成し、ゲーム、工作、運動等個別の対応を行っています。
- 各ご家庭の事情による臨時利用・振替利用をケアマネジャーの指示により受入れます。

《利用者（述べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
190	226	251	253	257	258	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
264	226	227	217	218	223	2,810

平成29年度「横浜市臨海地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,834,000	68,791	15,765,209	15,765,209	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	706,000	706,000	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	70,370	70,370	
印刷代	0		0	70,370	70,370	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,084,000		1,084,000	1,084,000	0	
収入合計	20,908,000	68,791	20,839,209	21,615,579	776,370	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,900,000	0	12,900,000	12,049,110	850,890	
本俸	7,000,000		7,000,000	7,210,909	210,909	
社会保険料	1,300,000		1,300,000	1,034,316	265,684	
手当計	3,500,000		3,500,000	3,464,400	35,600	
健康診断費	500,000		500,000	54,295	445,705	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	300,000		300,000	0	300,000	
その他	300,000		300,000	285,190	14,810	
事務費	1,110,000	0	1,110,000	1,151,754	41,754	
旅費	30,000		30,000	26,369	3,631	
消耗品費	200,000		200,000	205,929	5,929	
会議謝礼金	70,000		70,000	16,352	53,648	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	70,000		70,000	118,115	48,115	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	300,000		300,000	501,952	201,952	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	30,000		30,000	2,700	27,300	
振込手数料	60,000		60,000	92,537	32,537	
リース料	140,000		140,000	0	140,000	
手数料	30,000		30,000	0	30,000	
地域協力費	110,000		110,000	156,300	46,300	
その他	50,000		50,000	31,500	18,500	
事業費	292,000	0	292,000	857,959	565,959	
運営協議会経費	42,000		42,000	20,000	22,000	予算:指定額
指定管理料充当 事業	250,000		250,000	837,959	587,959	
管理費	5,574,000	0	5,574,000	3,329,388	2,244,612	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	2,528,000	0	2,528,000	1,277,029	1,250,971	
電気料金	632,000		632,000	319,257	312,743	
ガス料金	758,400		758,400	383,109	375,291	
水道料金	1,137,600		1,137,600	574,663	562,937	
清掃費	700,000		700,000	339,619	360,381	
修繕費	474,000	0	474,000	405,209	68,791	予算:指定額
機械整備費	300,000		300,000	295,276	4,724	
設備保全費	700,000	0	700,000	408,988	291,012	
空調衛生設備保守	400,000		400,000	324,900	75,100	
消防設備保守	100,000		100,000	84,088	15,912	
電気設備保守	100,000		100,000	0	100,000	
害虫駆除清掃保守	100,000		100,000	0	100,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	872,000		872,000	603,267	268,733	
その他	0		0	0	0	
公租公課	1,032,000	0	1,032,000	963,928	68,072	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,032,000		1,032,000	963,928	68,072	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	20,908,000	0	20,908,000	18,352,139	2,555,861	
差引	0	68,791	68,791	3,263,440	3,332,231	

自主事業費収入	250,000		250,000	0	250,000	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	250,000		250,000	837,959	587,959	
自主事業収支	0	0	0	837,959	837,959	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「横浜市踊場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	34,670,000	207,290	34,462,710	34,462,710	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	2,230,114	3,558,886	3,558,886	0	横浜市より
利用料金収入			0	0		
指定管理料充当事業(包括)	0		0	5,700	5,700	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	170,400	170,400	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	6,696,000		6,696,000	6,696,000	0	
収入合計	47,306,000	2,437,404	44,868,596	45,044,696	176,100	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	42,540,000	0	42,540,000	36,079,634	6,460,366	
本俸	23,000,000		23,000,000	17,817,751	5,182,249	
社会保険料	5,500,000		5,500,000	4,563,656	936,344	
手当計	12,000,000		12,000,000	12,373,679	373,679	
健康診断費	70,000		70,000	67,880	2,120	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	500,000		500,000	0	500,000	
その他	1,470,000		1,470,000	1,256,668	213,332	
事務費	1,900,000	0	1,900,000	4,698,407	2,798,407	
旅費	50,000		50,000	69,745	19,745	
消耗品費	500,000		500,000	461,280	38,720	
会議諸費	60,000		60,000	31,758	28,242	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	300,000		300,000	284,409	15,591	
使用料及び賃借料	10,000	0	10,000	0	10,000	
横浜市への支払分	5,000		5,000	0	5,000	
その他	5,000		5,000	0	5,000	
備品購入費	240,000		240,000	195,888	44,112	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	40,000		40,000	34,210	5,790	
職員等研修費	50,000		50,000	105,500	55,500	
振込手数料	30,000		30,000	27,852	2,148	
リース料	50,000		50,000	0	50,000	
手数料	10,000		10,000	0	10,000	
地域協力費	40,000		40,000	20,000	20,000	
その他	500,000		500,000	3,467,765	2,967,765	
事業費	1,340,000	0	1,340,000	991,007	348,993	
協力医	630,000		630,000	441,000	189,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	250,000		250,000	79,533	170,467	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	334,768	183,768	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	135,706	173,294	予算:指定額
管理費	1,526,000	0	1,466,000	885,017	580,983	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	510,000	0	510,000	339,463	170,537	
電気料金	150,000		150,000	101,839	48,161	
ガス料金	190,000		190,000	125,601	64,399	
水道料金	170,000		170,000	112,023	57,977	
清掃費	300,000		300,000	90,278	209,722	
修繕費	126,000		126,000	107,710	18,290	予算:指定額
機械警備費	100,000		100,000	78,491	21,509	
設備保全費	190,000	0	190,000	108,716	81,284	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	86,364	13,636	
消防設備保守	30,000		30,000	22,352	7,648	
電気設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	0	30,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	240,000		240,000	160,359	79,641	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二歳対応費			0	0	0	
支出合計	47,306,000	0	47,246,000	42,654,065	4,591,935	
差引	0	2,437,404	2,377,404	2,390,631	4,768,035	

自主事業費収入	710,000			176,100		予算:指定管理料を含む
自主事業費支出	710,000			550,007		
自主事業収支	0			373,907		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：横浜市踊場地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	17570	31397
	その他	0	0	354	0
	介護予防ケアマネジメント 費			303	
	事業・負担金収入			43	
	その他			8	
	収入合計(A)	17570	31397	108446	36183
支出	人件費	4156	22639	71541	36001
	事務費		3981	12289	2653
	事業費		0	8221	2379
	管理費		144	8118	3365
	その他	9356	0	0	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	9356			
	その他				
	支出合計(B)	13512	26764	100169	44398
収支 (A)－(B)		4058	4633	8277	-8215

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市踊場地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
すずらん(フラダンス)	高齢者	28,638	地活	2338	26300		5000	23638	
	398人		包括						
	月100円		生活						
ベルガーデン	虚弱高齢者	173800	地活	10000	163800			173800	
	564人		包括						
	600円		生活						
いずみ寺子屋	知的障がい児	38500	地活	0	38500			38500	
	236人		包括						
	月700円他		生活						
おどりば青年隊	知的障がい児者	75655	地活	1855	73800			75655	
	163人		包括						
	1回600円		生活						
とんとん教室	子育て中の親子	12800	地活	5000	7800		5000	7800	
	166人		包括						
	1回100円		生活						
親子野菜作り体験塾	親子	135825	地活	20825	90000	30000	105000	35825	
	345人		包括						
	3500円		生活						
障害児者合同外出レク	知的障がい児者	161020	地活	3520	157500			161020	
	35人		包括						
	7500円		生活						
園芸講座OB会	ボランティア		地活						
	なし		包括						
	なし		生活						
麻雀サロン「たまりば」	なし		地活						
	403人		包括						
	0円		生活						
地域情報サイト運営			地活						
			包括						
			生活						
歌って回想健康法	高齢者	100000	地活	500	99500		40000	60000	
	502人		包括						
	6か月2000円		生活						
おどりば体験Kids'	小学生		地活	0					
	21人		包括						
	1回100円他		生活						
団体発表会	地域住民		地活						
	123人		包括						
	なし		生活						
みんなで歌おう会	地域住民	33761	地活	-7039	40800		10000	23761	
	417人		包括						
	1回100円		生活						
おどりばねこまつり	地域住民	54396	地活	54396				54396	
			包括						
			生活						
俺のそば打ち	男性高齢者	30374	地活	23564	8000			30374	
	80人		包括	6810					
	1000円		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
		844,769		121,769	706,000	30,000	165,000	684,769	0

平成29年度 自主事業報告書

横浜市踊場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
すずらん (フラダンス)	高齢者を対象としたフラダンス教室。上達することを目的とせず、体を動かし健康を維持することを目的としている。そのため、1年を通してほとんど同じ曲を練習している。運動の後にお茶のみ会も実施。ボランティア数名で指導している	第1・第3木曜日 年間19回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベルガーデン 水曜クラブ (園芸療法)	園芸を通して、介護予防をおこなう。2次予防対象者から要支援者を対象にしている。晴れた日はベルガーデン（立場付近にある私有地）にて、花の手入れや野菜作りなどを行い、雨の日はケアプラザで押し花など園芸にちなんだ工作をおこなっている。共催 NPO法人日本園芸療法研修会。 本年度横浜市より介護予防・日常生活支援総合事業として認定されたため、10月からは自主事業から、協力という形となった。	毎週水曜日 年間24回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いずみ寺子屋 (知的障がい児)	知的障がい者を持つ中学生を対象とした放課後支援事業。子どもたちの社会交流と親の休養を目的としている。学校が終わった子どもたちがボランティアと一緒にケアプラザに集まり、工作や音楽、ゲームなどを楽しんでいる。	第2・第4木曜日 年間22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おどりば青年隊	知的障がいをもつ中学校卒業～20歳を対象とした事業。中学校を対象とした寺子屋と異なり、買物や料理作りなどをボランティアといっしょに行う。	第4土曜日 年間11回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仕事頑張り隊	知的障がいをもつ学齢期を終了した社会人を対象とした事業。買物や料理作りなどをボランティアといっしょに行う。	第4土曜日 年間11回予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とんとん教室	子育て中の親子を対象とした親子遊びの会。子育て中の親子の社会参加、友達作りの場を提供する。しっかり歩ける子どもとよちよち歩きの子どもの2部に別れて、それぞれにあった遊びを提供している。子育てサポートグループ「とんとん」共催	不定期 年間8回開催

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子野菜づくり 体験塾	地域の農家より土地を提供していただき、地域の小学校に通う子どもとその保護者が野菜づくりを行う。8月～12月、	月2回 7回実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者余暇支援 事業合同外出レ ク支援	障がい児者のグループ合同でバスを借り上げ外出する企画 毎年のたのしみとなっている。	2月 1回実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸講座OB緑の 会 「やまぼうし」	泉区事業「団塊世代パワーのいずみ」の一環として行われた「定年からの園芸講座」のOB会。ケアプラザ3階の植栽剪定をプロ指導で実施。20年度より「親子野菜作り体験塾」や、障害者通所施設ショイカンパニーが借りている、農園の耕作管理支援もを行っている。	第4日曜日年間11回 開催他、野菜作り 体験塾の準備役を 行う。
事業名	目的・内容	実施時期・回数
麻雀サロン 「たまりば」	「飲まない、吸わない、賭けない」を合言葉に行う麻雀サロン。夕方の貸館が少ない時間帯を利用。対象を高齢者に限定しないで世代間の交流も行いたい。	第2・第4金曜日 年間22回実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域福祉情報 サイト	中田・しらゆり地域の情報の発信・事業の紹介・活動への参加・過去の記録の保存と閲覧など、地域活動を活性化するための地域サイトとして作成を行なった。地域の情報ネットを作るツールとなるよう多くの活動グループの参加を進めて行きたい。	一年中
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニア フレンド	泉区社会福祉協議会・地域活動ホームかがやき等との共催事業。泉区在住の障害児の余暇支援をおこなう。	不定期実施 年1回企画
事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って回想健康 法	高齢者の介護予防・認知症予防のための歌や体操を取り入れた、楽しい健康法	第2・4火曜日 25回実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
利用団体発表会	ケアプラザを利用しているサークルの発表の場として、また地域の方が誰でも、無料で観覧可能な（子育て中のお母さんや障がいをお持ちの方でも遠慮せず来てもらえる）場として、実施。	第5火曜日 3回実施
事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで歌おう 会	ボランティアの伴奏に合わせて歌い、地域での多世代交流の場づくり	第1火曜日 11回開催

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おどりば体験 Kids'	Kids' Factoryと共催で小学生などを対象に、科学実験や自然体験などを通し、携帯ゲームから離れた楽しみを感じてもらう。	8月 1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
普通救命講習会	法人内普及員による、救命講習会	10月 1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
俺のそば打ち	男性の閉じこもりや介護予防、地域の仲間づくりを目的とし、そばの種まきから始め畑作業、自分で育てたそばでのそば打ちまでを行う。	7月から12月 8回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おどりばねこまつり	地下鉄駅・周辺地域と協力して「踊場猫の伝説」にちなんだイベントを開催。	2月 1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市踊場地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者懇談会	地域住民	14771	地活	11,671	3,100			
	特になし		包括					
	軽食回のみ100円		生活					
古い仕度講座	地域住民	15498	地活	15,498				
	30人×2		包括					
			生活					
ラントモ	地域住民	2808	地活	2,808				
			包括					
			生活					
ふまねっと茶話会	軽度認知症の人	6,415	地活	3,815	2,600			
	20人		包括					
	100円		生活					
オレンジフェス	地域住民	1,071	地活	1,071				
	100人		包括					
			生活					
ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	159	地活	2,160				
			包括					
			生活					
講座 遺言と相続	地域住民	30000	地活	30,000			30,000	
	32人		包括					
			生活					
ウォーキング	地域住民	0	地活	0				
	20人		包括					
			生活					
協議体「街づくりを考える会	地域住民	70653	地活	70653			36000	34653
	30人		包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市踊場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者懇談会	地域で介護されている家族へ、お互いに話合ったり一息つくことができたりすることで介護を続けられるように働きかけました。介護者かの要望で、施設見学も実施しました。	毎月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古い仕度講座	地域の方が、古い仕度を進めていくうえで必要な知識を法律事務所の方に話をさせていただきました。また弁護士からは遺言と相続についてはないをしてもらいました。	4月 9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォーキング	季節を感じながら参加者同士の交流を深めるウォーキングを開催しました。年齢を問わず地域住民のどなたでも参加できる内容を考えて、地域全体の健康づくりを行ってきました。	5月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キックオフイベント (オレンジフェス)	認知症になっても変わらない暮らしができるまちづくりの創出のために、子供から大人まで誰でも参加できる場を作りました。プロレス・出店・バルーンアート、認知症セミナーなどを行いました。	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ラントモ	認知症啓発イベント。認知症の当事者、家族、関係者がオレンジのシャツを着て地域を走りタスキをつなぎました。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふまねっと茶話会	介護予防教室「ふまねっと」メンバーの親睦を目的とした茶話会	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
協議体「街づくりを考える会」	日本社会事業大学菱沼先生をお招きし、中田しらゆり地域の街づくりや支え合いについて地域の皆様と検討しました。	2回